

追跡

— 実施事業のその後 —

子育て支援拠点施設の整備を実施して

さくらの保育園について、現在193名の児童が入所し、地域の皆様からの協力のもと、円滑に運営を行っております。

3歳未満児の入所希望が、当初予想していた人数よりも多くなっており、そのニーズの量が変わり、おきている面もあると考えております。

子育て支援センターについては、予想よりも多くの皆様からの利用をいただ



さくらの保育園

ており、子育て世代の方々の交流の場となり、子育て支援の推進に大きく寄与していると思います。

また、放課後児童クラブ（鮎つ子クラブ）については、計画段階よりも利用児童が多くなっており、学習スペース、遊びスペースともに「もう少し面積を広く確保したほうがよかったですのでは…」というご意見もいただ

いております。

課題として、県道から施設に入る際、

県道の構造がカーブで緩やかな坂道であるため安全な交通の確保について懸念する声もありましたが、保護者の皆様や地域の方々、交通安全協会の皆様など関係者のご理解ご協力をいただきながら事故防止に努めているところです。



さくらの保育園 発表会

また、施設の出入口であることの周知をはかるため、安全運転を呼びかける看板を設置するなど対応をいたしました。

今後とも地域の皆様のご協力をいただき、交通安全に努めてまいります。

編集後記



あけましておめでとうございます。

昨年は集中豪雨により、町は甚大な被害を受けました。地域の絆の大切さ、人の優しさ、自然の猛威を感じた年でした。一方、地域の方々が大切に守り育ててきた古典桜6本が、県の天然記念物に指定された事は明るい話題でした。

今年、荒砥町、鮎貝村、蚕桑村、東根村、十王村、白鷹村の1町5ヶ村が合併して誕生した白鷹町が町政施行60年を迎え、町史（現代編）が8月に発刊されます。郷土に誇りを持ち、地域文化を継承し、町のさらなる発展と未来を担う子ども達の健やかな成長を祈り、今年が良き年でありますように。

《新野》

広報委員

- 委員長 佐藤 京一
- 副委員長・編集長 山田 仁
- 委員 小口 尚司
- 委員 新野いく子
- 委員 奥山 勝吉
- 印刷 (有)梅津印刷

お手持ちのパソコンで議会中継をご覧いただけます。録画でもご覧いただけます。

議会だよりのご意見・ご感想などを議会事務局までお寄せください。